

平成30年度災害廃棄物処理セミナー (近畿ブロック) 第2回

日時：平成31年2月25日（月）
13:30～17:00

場所：大阪コロナホテル 別館2階 200AB会議室

◇主催者あいさつ（13:30～13:35）

環境省近畿地方環境事務所 所長 河本 晃利 氏

◎セミナーテーマ 「頻発する自然災害における自治体の廃棄物処理対策」

◇講演1（13:35～14:45 ※質疑応答10分含む）（70分）

「多発する大災害での廃棄物処理の現況

—自治体の災害対応でどう位置付けられているか。ハリケーン・イルマへの対応と比較して—

神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 教授 安富 信 氏

<講演概要>

2年前の熊本震災、一昨年九州北部豪雨、そして、昨年7月の西日本豪雨禍。厳しい災害が頻発している。そうした中、災害廃棄物の処理がようやく、認知されてきた。しかし、各市町村では、まだまだ、災害対策本部での位置付けは低いと聞く。アメリカでは、FEMAの指導もあって、きちんと位置付けられ、対応もシステム化されている。日米の差はどこにあるか、防災対策の視点から検証する。

◇講演2（14:45～15:25 ※質疑応答5分含む）（40分）

「産官学が連携し、オール関西で災害に備える！」

京都大学大学院地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴 氏

<講演概要>

東日本大震災以降、さまざまなステークホルダーが協力しあって災害廃棄物をスムーズに処理するための取り組みが進められている。関西においては、全国に先駆けて、廃棄物資源循環学会の関西支部メンバーが中心となり、行政や民間の方々とのネットワーク作りに乗り出した。初めて開催したWSの様子や今後の展望について説明する。

～休憩～（10分）（15:25～15:35）

◇パネルディスカッション（15:35～16:55）（80分）

「頻発する災害と近畿圏の被害、災害廃棄物処理対策」

◎コーディネーター：京都大学大学院地球環境学堂

准教授 浅利 美鈴 氏

◎パネラー（予定、順不同）：

神戸学院大学現代社会学部社会防災学科

教授 安富 信 氏

大阪府環境農林水産部循環型社会推進室資源循環課

参事 奥田 孝史 氏

舞鶴市市民文化環境部環境対策室

室長 平野 広道 氏

堺市環境局環境事業部環境事業管理課

主幹 水谷 臣 氏

近畿地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課

課長 山根 正慎 氏

応用地質株式会社 地球環境事業部 資源循環マネジメント部

部長 眞鍋 和俊 氏

<パネルディスカッションの概要>

平成30年は大阪府北部を震源とする地震、平成30年7月豪雨、台風第21号及び台風第24号など、近畿圏でも自然災害による多くの被害が発生した。

近畿圏の自治体関係者等をパネラーに迎え、災害廃棄物処理対策の課題と対策について議論する。

主催：環境省近畿地方環境事務所